

あらかわ

No.
289

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

荒川区議会は持続可能な開発目標
(SDGs)を支援しています。

区議会だより

令和6年度定例会 2月会議号

議会活動	2
2月会議の概要	2
区政のここをきく	3
下田市議会と意見交換	10
委員会活動の報告	11
予算審査の概要	14
主な総括質疑	15
区長の施政方針説明	15
予算に対する討論	16
採択された陳情	18
請願・陳情審査の流れ	18
議案の審議結果	19
視察受入報告	20
意見書提出	20

YouTube

ホームページ



「令和6年 尾久の原公園シダレザクラのある風景」

写真コンクール 優秀賞

撮影者：小坂 善男 様

議会活動

令和6年12月12日～令和7年3月14日

令和6年12月13日(区外視察)
○若者支援・健全育成調査特別委員会
12月19日
○財政援助団体調査特別委員会
12月20日
○震災・災害対策調査特別委員会
○観光・文化推進調査特別委員会
(区外視察)
令和7年1月14日
○総務企画委員会
○福祉・区民生活委員会
1月15日
○文教・子育て支援委員会
○建設環境委員会
1月20日(区外視察)
○震災・災害対策調査特別委員会
○若者支援・健全育成調査特別委員会
1月21日(区外視察)
○観光・文化推進調査特別委員会
1月23日
○財政援助団体調査特別委員会

1月27～29日(行政視察)
○総務企画委員会
○文教・子育て支援委員会
○福祉・区民生活委員会
1月30日
○議会運営委員会
2月3日
○総務企画委員会
○福祉・区民生活委員会
2月5日
○文教・子育て支援委員会
○建設環境委員会
2月13日
○議会運営委員会
2月14日
○本会議
2月19日
○本会議
2月20日
○総務企画委員会
○福祉・区民生活委員会

2月21日
○文教・子育て支援委員会
○建設環境委員会
2月25日
○若者支援・健全育成調査特別委員会
2月26日
○予算に関する特別委員会
2月28日
○本会議
○予算に関する特別委員会
3月3～7日 ※6日を除く
○予算に関する特別委員会
3月10日
○本会議
○予算に関する特別委員会
3月11日
○予算に関する特別委員会
○福祉・区民生活委員会
3月13日
○議会運営委員会
3月14日
○本会議

2月14日～3月14日までの期間(太字)に
令和6年度の2月会議が開かれました。



2月会議の概要

～令和7年度予算を可決／新たに副区長・教育長の人事議案を同意～

令和6年度荒川区議会定例会・2月会議には、
区長から38件、議員から3件の議案が提出され、
いずれも原案どおり可決・同意されました。

2月14日、19日の本会議では、13名の議員から区政全般にわたり一般質問が行われ、区長らが答弁を行いました。また、2月26日から3月11日までの間、予算に関する特別委員会が設置され、令和7年度予算に関する議案4件について審査を行いました。*予算審査の概要はP.14に掲載

3月14日の本会議では、荒川区副区長の選任同意や荒川区教育委員会教育長の任命同意などの人事に係る議案6件を始めとした各議案の議決が行われました。



◀2月会議における区長答弁の様子

区政のここをきく

2月14日、19日の本会議にて、一般質問が行われました

一般質問要旨

※ 二次元コードから一般質問の動画が視聴できます



災害時の情報発信・情報収集について／地域の活性化について

土橋 圭子
(自民党)



災害時の情報発信と情報収集について

問 災害時に区内の情報を迅速に収集・把握するため、庁舎内に情報収集・管理・伝達設備を集約した「防災指令センター」を整備すべきと考える。新庁舎整備に先立ち、現庁舎においても先行してどのような設備を整え、防災指令センター機能をどう強化していくのか、区の見解を問う。

答 防災指令センター機能の強化は大変重要であると認識しており、被災状況等の必要な情報を迅速に収集できるよう、防災カメラの設置経費を令和7年度予算に計上した。災害に備え、新庁舎の整備を待たずに、現庁舎において設置可能な機器を速やかに先行導入し、災害対策本部機能の一層の強化と災害対応力の更なる向上を図っていく。

問 区の防災アプリは災害時の情報収集手段として極めて重要であるが、区民への活用が不十分である。平時においても地域のイベント情報等を配信し、防災情報を収集できる身近なアプリとして認識してもらうとともに、更に多くの区民に活用してもらえよう、普及啓発を強化すべきと考える。

答 令和7年度予算において、自宅周辺の避難所等の防災情報をあらかじめ登録できるマイページ機能等、防災アプリの機能を充実・強化する経費を計上した。引き続き防災アプリの周知を図っていくとともに、熱中症等の季節に関する情報を配信するなど更に活用していただけるよう努めていく。

地域の活性化について

問 日暮里駅は成田空港とのアクセスが良く、今後も多くの外国人観光客が訪れることが期待できる。区にはあらかわ遊園や都電荒川線など、人を惹きつける観光資源が多数あり、今後、日暮里地域、

ひいては区全域に賑わいをもたらしていくために何をすべきと考えるのか、区の見解を問う。

答 日暮里繊維街等と連携したイベントを充実させていくとともに、行政区域を越えた周遊性を高める取り組みによる区への誘客の推進、外国人観光客の周遊性向上、旅行雑誌とのコラボによるガイドマップの発行等の広報、「コト消費」の創出にも取り組み、区全域の賑わいの創出を図っていく。



▲訪日外国人向け観光ウェブサイト「ArakawaAmazing!」

問 令和7年度に新設される地域経済活性化や観光プロモーション推進のための協議会について、若い世代の参画を積極的に進めることを要望する。加えて、若い世代の意見も取り入れながら観光振興の取り組みを進め、事業化の早期実現に繋げることを求めるが、区の見解を問う。

答 協議会の運営にあたっては、これからの区の地域経済、観光を盛り上げていく若い世代に関わっていただき、区民の皆様と一緒に創り上げていく運営体制としていく。

協議会で出された意見や提案は、可能な限り早期に各種施策や予算に反映するなど、迅速かつ柔軟に対応していく。



▲若い世代の参画を積極的に進めること

問 区内中小企業への支援策として我が会派が要望していた各種補助金の要件緩和等について、令和7年度予算に反映されたことは高く評価する。真に困っている事業者がスムーズに区の支援メニューに辿り着き、活用してもらえよう、更なる周知を進めていくべきと考えるが、区の見解を問う。

答 支援策の周知強化については、区としても課題と認識している。今後、情報発信等に加え、地域金融機関等を通じた周知の強化やSNSの更なる活用、自由に相談できる機会の場の創出など、支援を必要とする事業者にしっかりと支援の手が届くよう、周知等の取り組みを更に強化していく。

その他の質問項目

○予算案

○新庁舎建設の推進について



令和7年度予算編成について／
安心・安全な街づくりについて

保坂 正仁
(公明党)



令和7年度予算編成について

問 令和7年度予算編成にあたり、我が会派の要望も踏まえ、どのような考えを持って臨んだのか。予算額は過去最高の規模だが、財源確保や今後の基金・区債残高の推移について、区の見解を問う。

答 予算案の編成にあたっては、今やるべき施策に予算を重点的に計上する一方、既存事業の見直しに努めるなどメリハリの効いた予算編成を行った。基金の計画的な積み立てや区債の発行抑制、既存事業の見直し等により、将来にわたって健全で持続可能な財政運営を推進していく。

安心・安全な街づくりについて

問 区道の無電柱化推進のため更新計画を立て、災害に強い街を目指すべきと考えるが、見解を問う。

答 計画の改定を検討するとともに、国等の補助金を最大限活用して無電柱化を推進していく。



◀無電柱化整備済路線
(第二峡田小学校北側道路)

問 区内鉄道駅の改札口複数化を国やJR、京成電

鉄に今一度訴えるべきと考えるが、見解を問う。

答 事業者からは工事費用等を区が負担するよう求められている。引き続き事業者に要望していく。

問 近年、解体工事に伴う苦情等が後を絶たないことから、近隣住民が安心して過ごせるよう、「(仮称)荒川区解体基本条例」を制定すべきと考える。

答 今後どのような方法で指導の実効性を担保できるか、条例の制定も含め検討を進めていく。

その他の質問項目

○公共施設の防災拠点の整備について



地域防災力の更なる向上／
医療的ケア児支援について

竹内 明浩

(ゆいの会 (都民ファースト・
国民民主・あたらしい党・無所属))



荒川区の地域防災力の更なる向上を目指して

問 行政等による公助には限界がある。区民の防災意識を強化し、更なる地域防災力を向上させるには、防災士等の人材活用を積極的に推し進めるべきと考える。令和7年度予算において地域防災リーダーの育成を掲げているが、具体的にはどのような施策を考えているのか、区の見解を問う。

答 区内に居住する防災士の資格を持つ区民のうち区の事業に協力いただける有志の方を「あらかわ防災リーダー」として登録するとともに、中学生、高校生を対象に、防災士の資格取得にかかる経費を全額補助し、荒川区の持つ地域力を最大限に活かした共助による取り組みを推進していく。



◀地域防災力の更なる向上を

医療的ケア児支援の取り組みについて

問 医療的ケア児とその家族が地域の中で孤立することなく、誰もが自分らしく生きられる社会を築

くため、支援体制の更なる強化とサービスの充実を要望する。区では様々な取り組みが行われているが、医療的ケア児支援の現状、そしてその支援は行き届いているのか、区の見解を問う。

答 医療的ケア児やその家族の支援はこれまで以上に重要性が高まっており、医療的ケア児の保育や就学等における支援、家庭における支援等、様々な取り組みを実施してきた。区内事業所等の意見も聞きながら、引き続き施策の充実に努めていく。

その他の質問項目

○令和7年度予算案について



戦後・被爆80年の節目における平和行政について／
小規模事業主への支援

北村 綾子
(共産党)



戦後・被爆80年、荒川区平和都市宣言から30年の節目における荒川区平和行政について

問 平和宣言をしている荒川区として、核兵器禁止条約に参加するよう国に求めることを要望する。

答 区が加盟する平和首長会議では、令和7年1月、国に核兵器禁止条約の批准等を要請した。

問 広島・長崎の平和式典へ中高生を派遣するなど、継続的な平和事業を行い、発信を強めること。

答 平和の大切さを多くの区民に伝えるため、啓発活動等の内容を工夫し継続的に取り組んでいく。

問 ウィーン市ドナウシュタット区との高校生相互派遣事業で、平和を育む交流を行うことを求める。

答 平和の視点は重要であり、取り入れて実施しているが、今後更に受け入れ側と調整していく。



◀平和のバラパネル展示

書店、理容・美容室、飲食店など個人顧客を中心に事業展開する小規模事業主への支援

問 最大の課題は継承者問題。他区の先行事例を参考に事業承継マッチング等の支援拡充を求める。

答 相談者の状況に応じて、日本政策金融公庫が全国で展開しているマッチング支援を紹介している。

問 理容室やクリーニング店等、区民の環境衛生に係る事業への物価高騰対策支援の充実を求める。

答 今後も事業者に寄り添った支援を継続していく。

問 図書館と書店の協働に関する調査研究を求める。

答 書店と連携し、読書活動の推進を図っていく。

その他の質問項目

○動物愛護、アニマルウェルフェアに関して



水害時におけるマンションとの一時避難協定／防災カタログギフトについて

鬼頭 あきゆき
(立憲民主党)



水害時におけるマンションとの一時避難協定

問 区には水害時に耐震基準等を満たしているマンションを一時避難場所として使用できる、災害時地域貢献建築物認定制度があるが15棟と不足している。他区の事例を参考に、連合町会長会議で報告するなど、制度の認知度を高め、近隣住民が迅速かつ安心して避難できる場所を早急に増やしていくべきと考えるが、区の見解を問う。



◀水害時におけるマンションとの一時避難協定

答 議員の指摘のとおり、まだまだ制度が知られていない状況は課題であると考えている。今後、マンションへの意向調査等を実施し、取り組みの強化を図っていく。これにより、震災や水害が発生したときにも「ひとりの命も犠牲にしない」ため

の安全・安心な街づくりに努めていく。

防災カタログギフトについて

問 区では発災時に自宅が安全であれば在宅避難を推奨しており、各家庭で日頃から備蓄品を揃えておくことが重要である。今すぐできることとして、防災カタログギフトを配付すれば家庭内備蓄を考えるきっかけとなるが、区の見解を問う。

答 令和7年度に携帯トイレの無料配布事業を充実させ、家庭内備蓄のきっかけ作りに向けた取り組みを推進していく。引き続き、家庭内備蓄の重要性について普及啓発を行い、区民の在宅避難に向けた取り組みをより一層推進していく。

その他の質問項目

○災害対応自動販売機について



幼児期のレジリエンスを育む／区政世論調査について

山田 晴美
(維新・子育ての会)



幼児期のレジリエンスを育む

問 区立幼稚園で実施している「運動遊び」の研修について、公開実地研修の実施を要望する。更に研修会終了後、現場にどう反映されているかについて、アンケート等での情報収集も要望する。また、都が実施する「東京すくわくプログラム推進事業」を活用し、運動遊びを民間の外部トレーナーに委託することを提案するが、区の見解を問う。



幼児期の
レジリエンスを育む

答 運動遊びの研修は一定の成果があったが、保育士からは「保育観や倫理観、子どもの人権への理解を学べる研修を実施してほしい」といった声も上がっており、現場の意見を踏まえた研修を検討

していく。都事業の活用も含め、様々な取り組みを通して更なる保育の質の向上に努める。

区政世論調査について

問 令和6年度の区政世論調査の回収率は47.1パーセントであったが、タイトルや封筒を工夫するなどをして回収率を上げ、より多くの意見を集約すべきである。また、アンケート冊子に掲載する世論調査結果の活用事例については、各年齢層に関係する事例を複数掲載することを提案する。

答 これまで以上に分かりやすい区政情報の発信を心がけ、取り組みの充実を図るとともに、区民参画の取り組みを拡大していくことが、回収率の向上に寄与すると考えている。回収率が低い層への対策や調査票の設計等について改めて検討し、民間の力も活用しながら取り組んでいく。



交通公園の利用価値向上／高校生が地域・行政と関わる機会の創出と支援強化

若林 由季
(自民党)



交通公園の利用価値向上について

問 荒川自然公園の交通園について、子どもたちの思いを十分に反映し、魅力ある交通園へとリニューアルすることを要望するが、区の見解を問う。

答 区民の皆様からの意見について、十分な検討を行い、基本計画の策定を鋭意進めていく。



荒川自然公園
交通園

問 交通園のリニューアル工事期間中、自転車の練習場所や講習会を実施する機会を確保する必要がある。環境整備を強く求めるが、区の見解を問う。

答 公園内の別のスペース等で自転車を練習できるよう検討するとともに、区施設での自転車安全講

習会実施に向けて取り組んでいく。

問 天王公園に新設される交通公園については先進事例を精査するなど、慎重に研究を重ねること。汐入地域や隅田川沿いの活用も検討すること。

答 南千住浄水場跡地を交通公園の候補地として広く意見を聞きながら整備内容を検討していく。汐入公園の活用については、都に要望していく。

高校生が地域・行政と関わる機会の創出と支援強化

問 地域課題をテーマとしたワークショップを開催し、高校生が地域と関わる機会を増やす取り組みを進めることを要望するが、区の見解を問う。

答 新年度は高校生が対象の海外交流等の支援や、若い世代の地域活動を支援する補助金創設など、施策の一層の充実を図り、発展させていきたい。

問 令和9年度以降の基本構想等の策定にあたっては、「つなぐ」をキーワードに、高校生の意見を施策に反映できる仕組みを作るべきと考える。

答 高校生等を対象とした区の将来像を議論するワークショップ等の開催を想定しており、これらを継続的に開催する仕組みづくりも検討していく。

その他の質問項目

○滝口区長の目指す男性育児休暇取得向上について



災害関連死を防ぐためのT K B(*)の整備／ヤングケアラー支援策について

増田 峰子
(公明党)



災害関連死を防ぐためのT K Bの整備について

問 災害時はもとより、平常時から使用可能な完全循環型トイレの導入を要望するが、見解を問う。

答 先行自治体の導入状況等を踏まえ、完全循環型トイレの効果や平時の活用について検討していく。

問 避難所において温かな食事が提供可能なキッチンカーの導入を検討すべきと考えるが見解を問う。



▲避難所にキッチンカーの導入の検討を

答 今後、一般社団法人日本キッチンカー経営審議会と協定を締結し、取り組んでいく。

問 一次避難所において、快適な就寝環境が確保できるエアーマットの導入を検討すべきと考える。

答 今後、運用方法の確認や効果検証を行い、一次避難所へのエアーマットの導入を検討していく。

ヤングケアラー支援策について

問 ヤングケアラーに特化した調整役となるヤングケアラーコーディネーターの配置を要望する。

答 令和7年度は子ども家庭総合センターの職員をコーディネーターに位置付け、支援を進めていく。

問 第三者が相談・報告できる体制を整えるためにも、ヤングケアラー相談窓口の設置を要望する。

答 既存の相談窓口の活用も含め、検討していく。

問 高崎市の事業等を参考に家事支援を実施し、ヤングケアラー支援策を前進させることを求める。

答 実効性ある支援の調査・研究を進めていく。

その他の質問項目

○小中学校における英語教育の向上について

* T K B：トイレ (T)、キッチン (K)、ベッド・バス (B)



滝口区政における産業政策について

花澤 昭信

(ゆいの会(都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属))



滝口区政における産業政策について

問 区の産業構造は今後どのように変化し、どう発展していくのか。中長期的計画の策定にあたっては、抜本的な見直しが必要である。基本構想の策定に向けた検討が令和7年度に始まるが、産業分野に関してはどのように計画を立て、施策の展開を図っていくのか、区の展望を問う。



▲滝口区政における産業政策について

答 今後の産業構造の変化は未知数であるが、区内事業者への事業継続支援や創業支援等、「地域企業」が活躍する産業政策を講じていく必要があり、時代の変化に即した政策を検討していく。新たな基本構想の中で基本的な方向性を示し、これまで以上に有意義で実効性のある取り組みを行っていく。

問 区内事業者の実態調査について、調査項目の見直しを行い、区内事業者の経営実態を正確に分析した上での施策展開を行うことを強く求める。

答 次期の実態調査では、経営課題への取組状況や区への要望等、今後の効果的な支援策に繋がられるような質問項目の設定について検討していく。

問 区内事業者の人材不足解消のため、副業・兼業希望者に向けた取り組みとして、ツムギバの機能拡張や民間との連携、副業・兼業支援セミナーの開催、区内事業者の人材受け入れ支援を求める。

答 適切な役割分担の下で民間事業者との連携に努め、他の事例も参考にしながらセミナーの開催等を検討していく。人材受け入れ支援についても、事業者の状況に応じた必要な支援に努めていく。



区民の命と暮らしを守る対策について／震災対策の強化について

小島 和男
(共産党)



区民の命と暮らしを守る対策について

問 高額療養費制度は全世代に欠かせないセーフティネットである。令和7年度に予定される高額療養費引き上げ計画の撤回を国に働きかけること。

答 国からは今後各団体と意見交換をし、合意形成を図っていく考えが示された。今後も国の動向を注視し、その方針に基づき適切に運用していく。

問 福祉の人材確保と安定経営のため、他自治体の事例を参考に、高齢者・障害者施設を対象とした給付金支給等の緊急支援を行うことを求める。

答 人材確保と安定経営のためには、継続的な支援が重要であると考え、業務負担軽減のためのシステム導入支援や助成制度の開始を検討している。

問 公営住宅落選者に対して家賃助成を行うことは、都営住宅の新設への後押しにもなる。区として住宅困窮世帯に家賃助成を行うことを要望する。

答 高齢者やひとり親家庭等への住宅支援に加え、国の制度を活用した家賃助成等を行っており、今後も要配慮者の住宅確保に努めていく。



区民の命と暮らしを守る対策について

震災対策の強化について

問 昨年12月に国はスフィア基準への対応など、避難所の運営に関する指針を改定した。国の新たな避難所運営指針に基づき、区の避難所運営基準の改善を求めるが、区の見解を問う。

答 荒川区地域防災計画の修正に伴い、避難所運営基準の見直しも今後予定している。避難所の生活環境・衛生環境の更なる向上に取り組んでいく。



施設一体型の小中一貫校の導入／災害発生時の子どもの心のケアについて

西川 浩平
(自民党)



学校の建替えに伴う施設一体型小中一貫校の導入

問 平成19年度から小中連携教育の取り組みを第三中学校、汐入小学校、汐入東小学校で継続的に実施している。3校をモデル校に、小中一貫教育の導入を検討すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 「ICT教育の推進」等をテーマに3校で研究を進めており、研究内容を小中一貫教育の成果として、区立小中学校全体が学校経営の参考にしていく。今後も全校に成果を普及させていく。

問 今後予定される学校の建替え計画において、小中学校の児童・生徒が同じ校舎の中で共に学ぶことができる施設一体型の小中一貫校の建設を本格

的に進めるべきと考えるが、区の見解を問う。

答 学校施設の計画的な建替えの検討において、併設型小中一貫校の可能性を精査している。ハード面における整備実現の可能性についても検討しており、建替え計画で考え方を示す予定である。



◀学校建替えに伴う
小中一貫校の導入

災害発生時の子どもの心のケアについて

問 福祉避難所における高齢者や障がい者などの要配慮者への支援にかかる区の体制づくりについて、進捗状況を問う。

答 福祉避難所への蓄電池の配備や災害時における要配慮者支援の協定締結などを行っており、引き続き災害関連死の予防対策を充実・強化していく。

問 被災した子どもの心のケアについて、長期にわたるであろう心の問題に、どのような対応方針に基づき、取り組んでいくつもりなのか、見解を問う。

答 長期にわたり切れ目なく心のケアを実施できる体制の充実に取り組むとともに、年齢など子どもの発達段階に合わせた対応等の準備を進めていく。

その他の質問項目

○区内事業者に対する各種事業者支援について



起業の街：あらかわへ
／あらかわ遊園について

大月 健弘

(ゆいの会(都民ファースト・
国民民主・あたらしい党・無所属))



起業の街：あらかわへ

問 区でのスタートアップへの課題として、区のブランド力不足や、他区との差別化不足が挙げられる一方で、強みとしては、区内には技術を持った多くの中小企業が存在している。イノベーションを起こすために、区内企業のデータベース化、企

業と起業家のマッチングイベントの開催、区の定期的なフォローアップ体制の構築を要望する。

答 モノづくり企業とスタートアップとのマッチング支援等は効果的な取り組みと考えている。連携・協業については、令和7年度に新設する協議会で議論を重ね、早期実現を目指して取り組んでいく。今後も創業支援の充実を図りながら、起業を促進し、活力ある地域経済づくりに取り組んでいく。



◀起業の街あらかわへ

あらかわ遊園のサステナビリティ(継続性)

問 あらかわ遊園が続いていくためには収支のバランスが必要である。そのためには、経営課題整理と実行計画の策定が必要である。ソフト面を工夫して客層拡大・客単価向上を優先し、計画の実行にあたってはPDCAサイクルで管理すること。

答 令和6年度から10年度までを計画期間とした中期の事業計画を策定し、イベントの強化や園内の環境改善に取り組んでいる。様々な視点から来園者数の増加に努め、PDCAサイクルを意識しながら、将来を見据えた運営に努めていく。

その他の質問項目

○情報システム標準化の荒川区の進捗について

音声配信のご案内

本会議及び委員会の音声を
YouTubeで配信しています。
会議当日に配信を行うほか、
荒川区議会YouTube
チャンネルから過去の
映像や音声が見聴できます。



▲荒川区議会YouTube



人権を守り差別を許さない
荒川区をつくる／区民の交
通権・移動権をまもる

相馬 ゆうこ
(共産党)



人権を守り差別を許さない荒川区をつくる

問 区や区民に関して、差別を扇動するような情報や事実に基づかない情報発信があった場合は、区として抗議を示し、正確な情報を発信すること。

答 誤った情報が発信された際は、速やかに正確な情報の発信や削除要請を行うなど、毅然とした態度で臨んできた。今後も適切に対応していく。

問 区として人権を守り、差別を無くすため、法的な拘束力を伴った条例を制定し、人権の保障と被害者支援に踏み出すことを求めるが、見解を問う。

答 条例という形にこだわることなく、時代に合わせて改定作業を進めている新たな荒川区人権推進指針に基づき、人権施策の取り組みを進めていく。



人権を守り差別を許さない
荒川区をつくる

区民の交通権・移動権をまもる

問 補助第331号線の完成を待たず、さくらバスを南千住駅東口まで延伸するとともに、増便を実現し、必要な補助はためらわず行うことを求める。

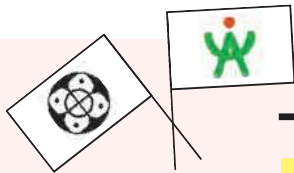
答 運転手不足により減便しており、増便は難しい。南千住駅東口への延伸も、運行時間の増加が採算性の悪化に繋がるため、早急な対応は難しい。

問 地域公共交通は「公共サービス」と位置付け、住民を交えて地域公共交通計画を策定すること。

答 現時点では計画の必要性は必ずしも高くない。送迎車の活用等、身近な交通手段を検討していく。

その他の質問項目

○子どもの権利をまもり、保育の質と量の充実のために



下田市議会と意見交換を行いました

令和7年1月22日、行政視察のため、下田市議会の産業厚生委員会が荒川区議会を訪問しました。

はじめに、下田市と荒川区の関係強化についての意見交換が行われました。下田市議会からは6名、荒川区議会からは14名の議員が参加し、被災時の対応や区内における下田市のPRなどについての意見が上がりました。

荒川区では、小学生を対象とした下田臨海学園や小中学校における移動教室など、毎年、下田市において教育活動を実施しています。また、平成26年度には災害時相互応援協定を締結し、継続的に交流を深めています。



▲意見交換の様子



▲下田市議会の皆様と

委員会活動の報告

議会運営委員会

茂木 弘 委員長



1月30日

◆2月会議について

- ①2月会議・初日の開会日について
- ②提出予定案件について
- ③2月会議の会議期間について
- ④一般質問等の締切日について
- ⑤提出議案説明のための委員会開会について
- ⑥2月会議の会議期間に係る日程について
- ⑦予算に関する特別委員会の設置について

2月13日

◆2月会議について

- ①追加議案の提出について
- ②陳情書の受理について
- ③2月会議の会議期間について
- ④議事日程について
- ⑤一般質問について
- ⑥2月14日の本会議の議事の取り扱い及び順序について
- ⑦2月19日の本会議の議事の取り扱い及び順序について

◆荒川区議会の個人情報の保護に関する条例及び規程の改正について

3月13日

◆2月会議の最終日について

- ①追加議案の提出について
- ②意見書について
- ③荒川区議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について
- ④議事日程について
- ⑤3月14日の本会議の議事の取り扱い及び順序について
- ⑥2月会議の終了について

◆今後の議会日程について



◀2月会議の様子

常任委員会

総務企画委員会

竹内 明浩 委員長



1月14日

◆所管事務事業説明

- ①第49回荒川区政世論調査結果について
- ②私債権にかかる債権管理の取り組み状況について

1月27～29日

◆行政視察

- ①福岡県久留米市（27日）
ふるさと納税について
- ②長崎県大村市（28日）
大村市産業支援センターについて
- ③長崎県長崎市（29日）
庁舎建て替えについて

2月3日

◆2月会議提出予定案件について

- ①職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例
- ②都市計画道路補助第331号線2工区擁壁外整備工事に係る請負契約の締結
- ③財産の取得（三河島駅前北地区市街地再開発施設内多目的アリーナの用に供するもの）
- ④令和7年度荒川区一般会計予算 等

◆所管事務事業説明

- ①あらかわ遊園スポーツハウス改修工事期間中における期日前投票所の一時移転について 等

2月20日

◆付託された議案について

- ①議案第51号
令和6年度荒川区一般会計補正予算(第6回)
- ②議案第60号
職員等の旅費制度の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例 等

◆所管事務事業説明

- ①都区財政調整協議結果について

ほか



◀行政視察（長崎市）

※二次元コードから各委員会の録音中継が視聴できます（委員会資料は「荒川区議会会議録検索システム」よりご覧ください）

文教・子育て支援委員会

並木 一元 委員長



1月15日

◆所管事務事業説明

- ①令和6年度荒川区教育委員会主要施策に関する点検・評価の実施結果について
- ②第三日暮里小学校への知的固定特別支援学級の開設について

1月27～29日

◆行政視察

- ①青森県八戸市（27日）
八戸ポータルミュージアム「はっち」について
- ②岩手県一関市（28日）
こども誰でも通園制度の本格実施を見据えた試行的事業の取り組みについて
- ③福島県郡山市（29日）
教員の指導力向上と働き方改革に係るICTの活用について

2月5日

◆2月会議提出予定案件について

- ①荒川区一時保護施設の設備及び運営の基準に関する条例の制定について
- ②令和7年度荒川区一般会計予算
（文教・子育て支援委員会関係）等

◆所管事務事業説明

- ①南千住図書館・荒川ふるさと文化館リニューアルの基本設計について

2月21日

◆付託された議案について

- ①議案第42号
荒川区立保育所条例の一部を改正する条例 等

◆所管事務事業説明

- ①荒川区子ども・若者総合計画（案）の策定
- ②「未来に向けた保育施策のあり方」の改訂 ほか



◀行政視察（八戸市）

福祉・区民生活委員会

山口 幸一郎 委員長



1月14日

◆所管事務事業説明

- ①区内における交通事故発生状況とその対策

1月27～29日

◆行政視察

- ①熊本県玉名市（27日）
高齢者見守りアプリ
「オレンジセーフティネット」について
- ②佐賀県佐賀市（28日）
介護予防DXの取り組みについて
- ③山口県周南市（29日）
周南市高齢者バス・タクシー運賃助成事業について

2月3日

◆2月会議提出予定案件について

- ①令和7年度荒川区一般会計予算
（福祉・区民生活委員会関係）
- ②令和6年度荒川区一般会計補正予算（第6回）
（福祉・区民生活委員会関係）
- ③荒川区立在宅高齢者通所サービスセンター条例の一部改正について
- ④財産の貸付けについて 等

2月20日

◆付託された議案について

- ①議案第47号
荒川区公衆浴場法施行条例の一部を改正する条例 等

◆陳情審査（1件）

ほか

3月1日

◆付託された議案について

- ①議案第68号
荒川区国民健康保険条例の一部を改正する条例 ほか



◀行政視察（周南市）

建設環境委員会

斎藤 泰紀 委員長



1月15日

◆陳情審査（2件）

◆所管事務事業説明

- ①森林体験事業の実施状況について

2月5日

◆2月会議提出予定案件について

- ①令和7年度荒川区一般会計予算
（建設環境委員会関係）
- ②令和6年度荒川区一般会計補正予算（第6回）
（建設環境委員会関係）
- ③荒川区道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例について
- ④荒川区立公園条例の一部を改正する条例について
- ⑤荒川区が管理する区立公園における移動等円滑化の基準に関する条例の一部を改正する条例について
- ⑥特別区道の路線の認定及び廃止について

◆所管事務事業説明

- ①区道の路面下空洞調査について

2月21日

◆付託された議案について

- ①議案第48号
荒川区道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例
- ②議案第49号
荒川区立公園条例の一部を改正する条例
- ③議案第50号
荒川区が管理する区立公園における移動等円滑化の基準に関する条例の一部を改正する条例
- ④議案第59号
特別区道の路線の認定及び廃止について
- ⑤議案第67号
荒川区手数料条例の一部を改正する条例

**特別委員会****震災・災害対策調査特別委員会**

夏目 亜季 委員長



12月20日

◆調査研究事項

- ①荒川区地域防災計画実施推進計画の策定案

1月20日

◆区外視察

- ①本所防災館における防災普及啓発の取り組み

観光・文化推進調査特別委員会

増田 峰子 委員長



12月20日

◆区外視察

- ①江東区における「松尾芭蕉ゆかりの地」発信の取り組み

1月21日

◆区外視察

- ①越生町における「太田道灌ゆかりの地」発信の取り組み

財政援助団体調査特別委員会

鎌田 理光 委員長



12月19日

◆調査研究事項

- ①荒川区自治総合研究所について

1月23日

◆調査研究事項

- ①荒川区社会福祉協議会について

若者支援・健全育成調査特別委員会

清水 啓史 委員長



12月13日

◆区外視察

- ①昭和大学附属烏山病院 リハビリテーションセンター

1月20日

◆区外視察

- ①特定非営利活動法人 青少年自立援助センター

2月25日

◆調査研究事項

- ①荒川区子ども・若者総合計画（案）の策定

予算に関する特別委員会で 令和7年度予算を可決

令和7年度一般会計予算ほか3特別会計予算については、全議員で構成される「予算に関する特別委員会」（委員長＝夏目亜季、副委員長＝保坂正仁）を設置し、2月26日から3月11日まで審査を行いました。各予算案はいずれも原案どおり可決されました。



◀予算に関する特別委員会の
進行の様子

北城議長（左） 夏目委員長（中央） 保坂副委員長（右）

委員会での審査経過

2月26日

◆一般会計予算

○総括質疑（6会派）

※主な質問項目はP.15

○歳出審査（議会費・総務費）

2月28日

○歳出審査（総務費）

3月3日

○歳出審査（総務費）

3月4日

○歳出審査（総務費・民生費）

3月5日

○歳出審査（民生費）

3月7日

○歳出審査（民生費・衛生費・
環境清掃費）

3月10日

○歳出審査（産業経済費・土木費）

3月11日

○歳出審査（土木費・教育費・
公債費・諸支出金・予備費）

○歳入審査（一括審査）

○採決

・組み替え動議（共産党提出）
採決の結果 … 否決

・原案
採決の結果 … 可決

◆国民健康保険事業特別会計予算

◆後期高齢者医療特別会計予算

◆介護保険事業特別会計予算

○審査

○採決 採決の結果 … 可決

令和7年度 予算の概要

年度区分 会計区分		令和7年度 予算額	令和6年度 予算額	増減額	増減率
一般会計		1,319億3,000万円	1,219億円	100億3,000万円	8.2%
特別 会計	国民健康保険 事業	229億3,700万円	238億2,200万円	△8億8,500万円	△3.7%
	後期高齢者 医療	57億2,700万円	55億5,500万円	1億7,200万円	3.1%
	介護保 険事業	202億4,800万円	192億9,500万円	9億5,300万円	4.9%

主な総括質疑

自民党 並木 一元 委員



- 令和7年度予算について
- 高齢者のフレイル対策について
- ゼロカーボンシティについて
- 子どもを産み育てやすい施策の推進について

ゆいの会 (都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属) 山本 剛 委員



- 国民健康保険料及び失業時の高額療養費の減免について

竹内 明浩 委員



- 人材不足と人件費高騰の中で、入札不調がおきない仕組み（公契約条例）を整備することについて
- 戦後80年の節目、尾久初空襲について

公明党 山口 幸一郎 委員



- 高齢者の移動支援について
- 特別養護老人ホームの大規模改修について
- アスベスト調査補助について

共産党 横山 幸次 委員



- 歳入から見る区民の暮らしについて
- 荒川区における「まちづくり」の在り方について

立憲民主党 久家 しげる 委員



- 俳句のまち宣言10周年について

維新・子育ての会 山田 晴美 委員

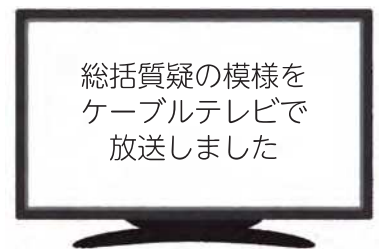


- 職員が働きやすい環境づくり



荒川区議会ホームページでも映像公開中！
※各二次元コードから視聴できます

総括質疑の模様を
ケーブルテレビで
放送しました



令和7年 区長の施政方針説明

(一部抜粋・要旨)

滝口区長から、2月14日の本会議において、施政方針説明が行われました。

令和7年度予算案は、「新時代のあらかわへ！区民とともに荒川区の未来へつなぐ予算」と位置づけ、施策を具体化したものです。荒川遊園スポーツハウスや特別養護老人ホームの大規模改修等、将来に向けた投資を積極的に行うとともに、現下の物価高騰を踏まえた負担軽減や、区民の命と健康を守るための安全・安心の充実に重点を置いた予算となっています。きめ細かな取り組みをしつ

かりと進めるとともに、執行に当たりましては、より効率的で効果的な運用を目指し、財源の確保や徹底した経費削減等に最大限努めてまいります。

区長に就任して3か月。現場目線を忘れることなく、山積する課題の解決に向けさらに前進していく決意です。区民のため、地域のための政策の実現に向けて、執行機関と区議会の間で建設的な議論を交わしてまいりたいと考えています。ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



区長の施政方針説明の様子

令和7年度予算をこう評価する

3月14日の本会議において、令和7年度一般会計予算について各会派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

区民とともに荒川区の未来へ
つなぐ予算となるよう、一層
の努力を強く要望し、賛成
自 民 党



令和7年度予算の編成に先立ち、我が会派は400を超える事項について積極的に推進するよう予算要望書を提出した。本予算案では、物価高騰に直面する子育て家庭への支援を始め、区民の安全・安心を守る取り組み、教育環境の整備や産業・観光振興、地域の活性化に資する取り組み、魅力ある街づくりなど、数多くの分野で適切に予算化されている。区が抱える様々な諸課題に対し、区民目線、現場目線で果敢に取り組まれた結果であると認識しており、改めて滝口区長及び区当局の努力を評価する。

我が会派は、執行機関のチェック機能を担う立場から区当局と適切な緊張関係を保ち、区政の発展のために具体的な政策提言を行っていく姿勢で予算に関する特別委員会に臨んだ。

教育費無償化の推進については、我が会派の緊急要望を受け止め、一部の補助教材や修学旅行等の行事、卒業アルバム等の無償化をし、保護者の経済的負担軽減と、子どもたちの健やかな成長を支援する区の姿勢を高く評価する。



▲卒業アルバム等の無償化

物価高騰対策では、公衆浴場燃料費助成や省エネ家電助成、経済緊急対応融資等が継続して予算化されており、高く評価する。

福祉の分野では、区民の健康寿命を延ばすのに欠かせないフレイル予防の施策が盛り込まれた。健康づくりのプログラムを充実させ、柔道

整復師会と連携した講座の検討を要望する。

子育て分野では、にこにこすくーるの朝時間の本格実施など、子どもたちの健やかな成長の実現に向けた事業が着実に展開されることを確認した。東京すくわくプログラム推進事業については、区独自プログラムの実施を期待する。

環境分野では、プラスチック分別回収の本格実施への取り組み、資源収集車両の確保、作業効率化に向けたDXの検討等について確認した。

防犯対策の分野では、ネットワーク化された防犯カメラのAI機能について、認知症高齢者の捜索への活用や外部機関と連携を図る際の情報提供のルールづくりの必要性を提案した。

観光・産業振興の分野では区の資源を活用した地域経済の活性化や観光プロモーションの推進、マル経融資の利子補助の新規実施、街づくりの分野では公園の遊び場の拡充、マンション防災対策の推進など、我が会派の要望を受け止め、適切に予算に反映されたことを感謝する。その他にも数多くの質疑や提案をした。

将来の財政見直しを適切に把握し、必要な行政サービスをしっかりと提供できるよう計画的な財政運営を求める。加えて的確な行政評価等を継続的に実施し、数値を伴った具体的な成果を財政フレームに織り込むよう要望する。

予算執行にあたっては、区民とともに荒川区の未来へつなぐ予算となるよう、より一層の努力を強く要望し、予算案に賛成の討論とする。



とうきょうすくわく
プログラムロゴ

わくわくする荒川区の街づくりに向け、より一層の努力をするよう要望し、賛成

公明党



我が会派は167項目にわたる令和7年度予算に関する要望書を滝口区長に提出した。この度の予算案は、我が会派が強く求めてきた学校教育費の保護者負担軽減、小児及び高齢者インフルエンザ予防接種の無償化など、物価高騰に直面する区民への支援や安心・安全を守る取り組みに予算が重点的に取り入れられ、限りある財源を効果的に配分したものと評価している。

予算に関する特別委員会において、福祉・健康の分野では生理の貧困問題、地域コミュニティの分野では町会自治会のデジタル化、災害対策の分野では完全循環型トイレの設置、子どもや子育て世帯に対する支援ではフリースクール、

ヤングケアラー、産後ケアなど重要な3つの支援について、環境の分野ではゼロカーボンシティに向けたごみ集積所の柔軟な配置検討、その他にも公共施設LED化に係る区の整備方針や環境教育など、各分野で質疑・要望を行った。

いずれも早急に検討すべき重要課題であり、今後の予算執行等に十分に反映し、国や都の財源を最大限に活用してほしい。区民が大きな希望を持ち、未来へつなぐ予算として、わくわくする荒川区の街づくりに向け、より一層の努力をするよう要望し、予算案に賛成の討論とする。



完全循環型トイレの設置を提案

戦略的かつ機動的な予算執行に当たるよう期待し、賛成

ゆいの会 (都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属)



本予算案が区民や我が会派の要望に対応しているのか、行財政運営の在り方や区財政の持続可能性はどうなのかといった視点に立ち、予算に関する特別委員会で質問や要望を行った。

総務費では、各種SNSを用いた広報活動や情報に対する区民ニーズの把握、特殊詐欺への対応等について確認した。民生費では、高額療養費の失業時減免や新年度の国民健康保険料負担、子育て教育事業に対する都の助成制度の継続等について確認した。衛生費、以下各款については、飼い主のいない猫の譲渡費用への助成や、不妊治療への区独自助成、産院の無痛分娩体制、預託金の意義、緑被率の向上等について

質疑を行った。我が会派の意見や要望に対し、概ね前向きな答弁があったと認識している。

滝口区長は昨年11月の就任後の限られた時間の中で、区民に求められているものは何なのか、各会派の要望も踏まえ、庁内で議論を重ね、本予算案を編成したと理解している。我が会派においても、195項目に及ぶ予算要望書を提出し、その要望が随所に盛り込まれていた。

将来の財政需要への備えを行い、必要な施策について、戦略的かつ機動的な予算執行に当たるよう期待し、予算案に賛成の討論とする。



自動通話録音機チラシ
(区内在住60歳以上は無料で設置可能)

物価高騰対策など
暮らし最優先を求め、反対

共 産 党



区立小中学校教材費等の無償化など、長年の区民要望が実現したことは評価するが、区財政運営の基本はこれまでと変わっていない。

第1に、財政運営の在り方の見直しが無い。本庁舎の建て替え基金の積み増しなど、基本は10年間で2倍。暮らし応援を最優先すること。

第2に、暮らし応援・物価高騰対策が不十分である。我が会派の予算組み替え動議は、エアコン購入助成、奨学金返済支援等を盛り込み、予算全体の2パーセントで組み替え可能である。

第3に、区民サービスの民間委託路線と定数管理を見直し、区の責任で公共福祉を再構築する方向に切り替える姿勢が打ち出せていない。

第4に、大規模駅前再開発と防災安心の街づくりの予算が違いすぎる。家賃補助拡充の検討や地域公共交通再構築の具体化提案が無かった。

第5に、区政の区民参画が遅れている。事業提案型制度の創設、区民参加型予算の確保の区長公約について、今後の取り組みを要望する。

最後に、教育委員会の責務は教育条件と環境整備である。教員が授業と子どもに向き合える時間の保障のため、力を尽くす必要がある。

以上、区政運営抜本的な転換を求め、予算案に反対の討論とする。



◀ 区民参画に関する
今後の取り組みを要望

採 択 さ れ た 陳 情

採
択

令和6年度第6号陳情

尾久生活実習所保護者会から要望した2件の促進に関する陳情

～ 請 願 及 び 陳 情 審 査 の 流 れ ～

提出方法等の
詳細はこちらから▶



提出



受理



審査



議決



結果通知



荒川区議会に請願・陳情を提出します。いつでも提出可能です。



議長が受理し、審査を担当する委員会に付託されます。



付託された委員会慎重に審査が行われます。



委員会の審査結果を基に、本会議で議決が行われます。



議決後、提出者に結果通知があります。
(採択・不採択等)

全国の議会が視察に訪れています



12月12日～3月14日までに10件の視察を受け入れました。

日程	視察受入議会名	主な視察項目
12月19日	 広島県尾道市議会	「タヤケだんだん」を活用した販わいづくりに ついて
12月24日	 福岡県福岡市議会	中学校「防災部」の活動内容とその成果について
1月8日	 鳥取県米子市議会	ゆいの森あらかわについて
1月15日	 大阪府貝塚市議会	荒川区豊かな心を育む読書のまちづくり条例に ついて
1月20日	 愛知県岡崎市議会	自殺未遂者の支援に向けた医療との連携について
1月22日	 静岡県下田市議会	①MACCプロジェクトの取り組みについて ②都電荒川線バラの花プロジェクトの取り組みに ついて ③荒川区民総幸福度（GAH）の導入について
1月27日	 茨城県つくば市議会	中央図書館の運営並びに概要について
	 福岡県福岡市議会	高齢者向けeスポーツ交流事業について
1月31日	 岩手県大船渡市議会	ゆいの森あらかわについて
2月4日	 京都府長岡京市議会	ゆいの森あらかわについて



◀米子市議会様



◀岡崎市議会様



◀長岡京市議会様

意見書提出

2月会議では2件の意見書を提出しました。

意見書の本文は
こちらから▶



1 医療用医薬品の安定供給の確保を求める意見書

（衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、内閣官房長官あて）

2 高額療養費制度における負担上限額引き上げの見直しを求める意見書

（内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣あて）